

富士見市公民館運営審議会議事録

会議の名称	令和2年度第3回富士見市公民館運営審議会
開催日時	令和2年11月17日(火)午後7時～8時30分
会場	水谷公民館 多目的ホール
出席者	神木基晴 長ヶ原美博 小谷千佳子、小林勝夫 新井充 横谷希己江 松尾伸悟 長堀厚子 戸賀沢隆士 小森和雄 三枝晴子 上堀護 田中洋子 藤井文則 上原みつ子 (15人) 鶴瀬公民館長 南畑公民館長 水谷公民館長 水谷東公民館長 鶴瀬公民館事務局担当 (合計20人)
欠席者	會津貞子 (1人)
議事録確認	議長
公開・非公開	公開(傍聴人0人)
次第	○報告 ・市内公共施設の利用の緩和について ○協議 ・令和2年度の公民館運営審議会全体会のテーマについて ・平成22年度公民館運営審議会の答申について
会議内容	
<p>○報告</p> <p>11/10からの施設の利用見直しの件について、事務局より説明。あわせて各公民館長より、進捗状況の報告。</p> <p>(鶴瀬公民館) 寒くなってきたため利用者が窓を閉める傾向があり、定期的な換気の励行のため、30分に1回5分間、館内で音楽を流すようにした。春に予定されている全市事業の子どもフェスティバルについては、規模縮小での開催が実行委員会で提案された。</p> <p>(南畑公民館) 大規模改修中のため休館であるが、今年の秋は天候に恵まれ、工事が順調に進んでいる。年内での工事終了を予定している。館内も明るくなり、地域の方にも気持ちよく利用していただけるものと感じている。</p> <p>(水谷公民館) 11/20～12/13の期間で、館内のロビーを活用してサークルの作品展示と、舞台サークルの動画配信を行う。また、地域商店の活性化事業として、商品が当たる抽選会を行う。</p> <p>(水谷東公民館) コロナ禍ではあるが、子ども公民館事業などをスタートした。また、11/10からの緩和に伴い、公民館に利用者が戻ってきたように感じている。</p>	

○協議

<公運審全体会のテーマについて>

各地区の議長より、地区公運審の報告がなされた。その後、全体会議長より、先日行った正副議長会議での内容と全体会のテーマ『コロナ禍における「新しい生活様式」の中での施設のあり方』について説明が付され、各委員より意見聴取を行った。

委員：今期のテーマとして挙げられている『コロナ禍における「新しい生活様式」に基づいた施設の在り方』の中の「新しい生活様式」とはどのようなイメージか。いろんな取り方があるため、定義を行ったほうがよいのではないかと。

委員：定義を行って話をするというのではなく、「新しいサークル活動のかたち」のような新しいスタイルを考えるとというほうが良いのではないかと。

委員：現在、学校では給食を一方向に向けて食べているなどの話を聞いている。注意喚起のため、音楽をかけるというのも、コロナ禍だからこそ起こっている現象といえる。

委員：Zoom 会議や動画配信なども、今話題になっている。できる人とできない人の格差が広がっているような印象も受ける。

議長：前回の正副議長会議において、各地区公運審の話をしてもらった時に、現在公民館の施設利用はいろんな条件が付されており、その中で、活動や事業について考えているが、コロナの対策・対応は必ずくっついているのが現状。その中で、施設の利用・活用を考えると、コロナは生活の一部になってきており、コロナを踏まえた上での展開が必要ということは、4館共通であった。

委員：コロナだからこそ、工夫できることがあるのではないかと。例えば、「コロナだから〇〇ができない」ということを聞く。しかし、規制される中で新しいものを考えていく必要がある。

委員：やれること、やれないことがあるのは、みな同じであるが、活動していないサークルもでてくる。今までの対応ではなく、「新たに」となると、時間もかかり、一気にかえることは難しい。少しずつ、何ならできるか、可能かという視点を持つことが大事。

委員：「施設の在り方」というよりは、今後、コミュニケーションをどのようにとっていくかということが大事。今までは、公民館にきて、会って話して、顔を合わすことで関係をとれていたものが、コロナが原因でできなくなっている。特に高齢者で、かつ単身でお住まいになっている方については、とても重要な問題である。コミュニケーションをとる術がなくなってしまった現状があり、どうしていいのか、答えもすぐ出てこない。

委員：コロナで自宅にいる時間が増えたこともあり、どうしてよいかわからない高齢の方は多いと思う。

委員：動画や Zoom も使い方次第ではないかと。今までのものを見直して、ハイブリッ

ドで両方やっていく。やってみたら、「ポチッ」と押すとつながり簡単と感
じられるかもしれない。ただ、それには、ポチッと押すまでを誘導する人が必要であり、
一緒に教えながらやっていくことが必要になる。

議長：コロナ禍で人や社会との関わり方が多く変わってきた。変わってきているこ
とに、自分もどう変わっていくか、どのように対応していくのかということ
を考えさせられる。そのため、今期のテーマとして、挙げさせてもらった。各公
民館で協議を行う中で、全体会のテーマも踏まえた上で話し合いをおこなっ
てもらいたいと考えている。

<平成 22 年度公運審の答申について>

水谷東公民館の地区公運審で議題とされた。新規委員も多く、3 期目の委員で
も最長 6 年であることから、答申の概要について鶴瀬公民館長より、説明がなさ
れた。議長より、答申から 10 年を経過しているため、今後の地域課題を考えてい
くうえで参考にしてはどうかという提案がなされ、委員、了承となった。

次回会議：令和 3 年 3 月 2 日（火）午後 7 時～ 南畑公民館